

北栄町議会議長 津 川 俊 仁 様

北栄町議会広報広聴常任委員会 委員長 油本朋也

議員派遣結果報告書

1	名 称	令和5年度町村議会広報クリニック
2	場 所	東京都千代田区 全国町村議員会館
3	期 間	令和5年8月28日（月）～29日（火）
4	感 想	▶「議会だより66」反省 p1. 写真の中で文字の見せ方のセンスが問われた。 p2. 見出しのアドバイスに納得。自分の能力の限界を痛感。 p3. 何の疑問もなく○□で囲っていた。惰性だったのか。 p10-11. 実は自分でも感じていた。妥協を見抜かれた。 p20. 本人任せでも最低そのレベルまでは要検討だったか。 ▶講義全体で指導されていた以下の点… ・主語と述語の関係をはっきりさせる ・無駄なことばを削る ・文は短く簡潔に伝わりやすく ・簡潔な文の流れ ・接続詞に細心の注意 ・スッと読んでサッと理解できる文章 …など全体的なレベルは、当広報誌の評価は素人集団としては決して低くないと受け取った。また発行を重ねるたび各委員のスキルアップは感じていた。 ただ以前からパターン化されていた広報誌のフォーマットを、慣例のまま使用したため生じた惰性が指摘の一つであったのならば、今までと違う視点の必要性を実感。 ▶ICT化が進む中で、議会広報誌を媒体とする議会の情報公開方法は変革期を迎えているらしい。しかし電子版であれ紙であれ、広報誌が持つ役割は不変であると思う。 限られた「時間・人員・予算」の中で常に一定以上のレベルを維持するには、可能ならば表現したい内容を簡潔な文の流れの中で、微細な誤りもなく自在に「ことば」操る能力、及び全体を美しくレイアウトできる能力を有する集団と、それを統率する者の存在。そして問題意識を共有し、自分たちをレベルアップさせることに努力を惜しまず、その完成を喜び合える仲間意識も大切では。 久しぶりに日本語を楽しむことのできた貴重な2年間だった。あとは、よろしく・・・

提出期限 令和5年9月11日（月）まで